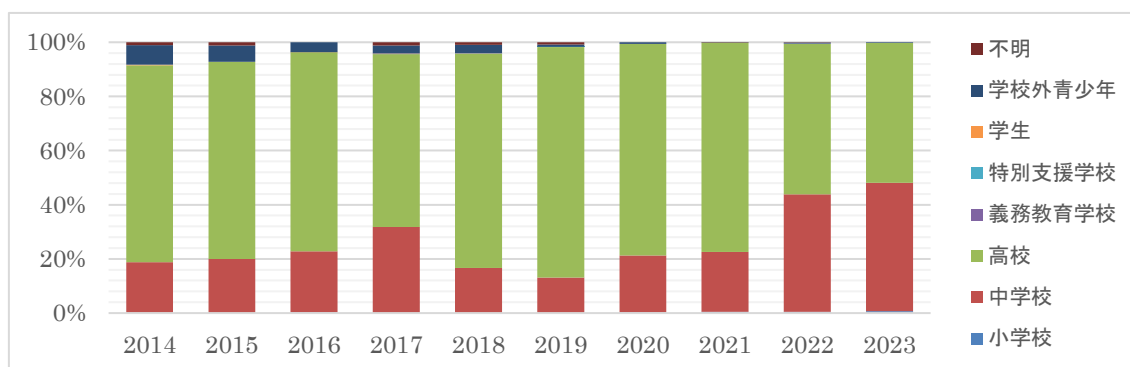


令和5年9月度 | ネットパトロール記録

概要（傾向・事例等）



上のグラフは、2014年度からの校種別検出割合の推移です。昨年度と今年度（9月まで）は中学校の占める割合が大きくなっていることが分かります。背景として、スマートフォン所持開始年齢の低年齢化と、問題投稿の変化（非行行為の減少、迷惑・危険行為の増加）が考えられます。また、中学生はプロフィールに、身元の特定につながる、学校名（通称名、かな、ローマ字表記を含む）を記載していることが多くあります。中学生が、迷惑・危険行為と認識せずにそういった行為を投稿している可能性があります。

今月のおねがい

～ ネットパトロールからの連絡 ～

学校に「ネットパトロール」から、児童生徒のネット上の投稿等について注意を促す電話が入った、という話を、ここ数ヶ月の間に何度か耳にしました。この資料を書いているネットパトロールから、学校に直接連絡することはありません。青少年のSNSなどにメッセージを送ることもありません。ボランティアで「ネットパトロール」活動をしている方からの連絡かもしれませんが、この資料を作成しているネットパトロールとは別であることに、ご留意をお願いします。

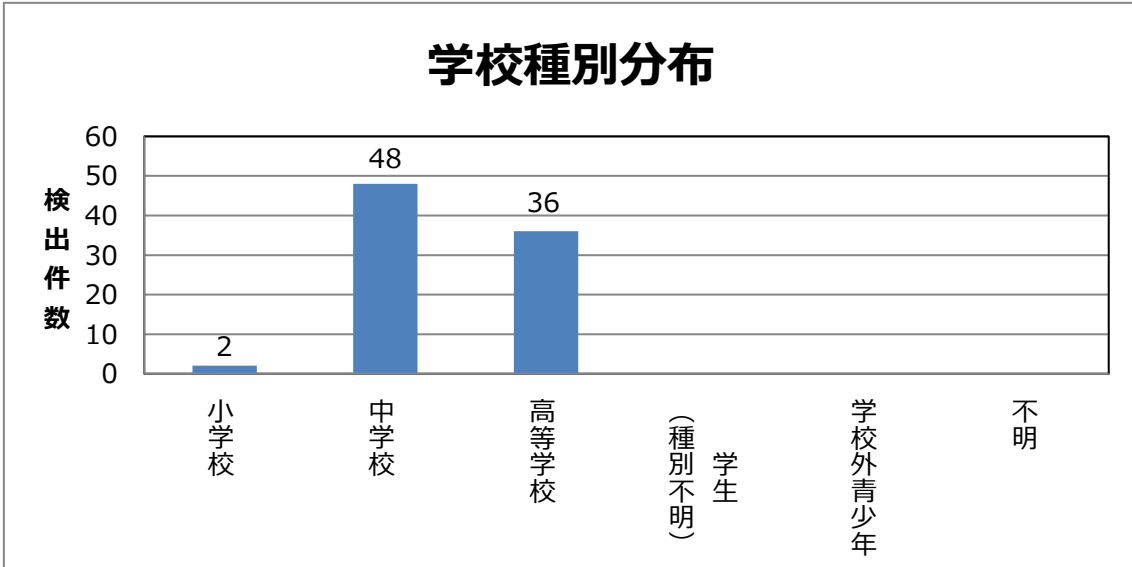
検出件数

8月の検出件数は **86** 件でした。

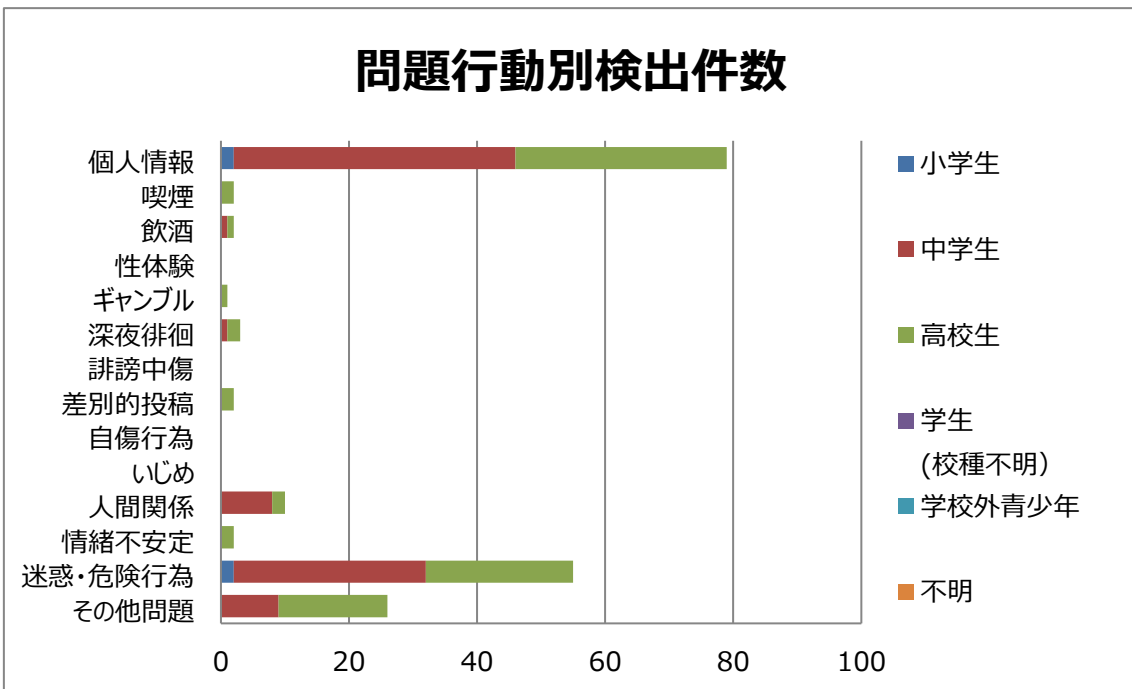




学校種別検出件数

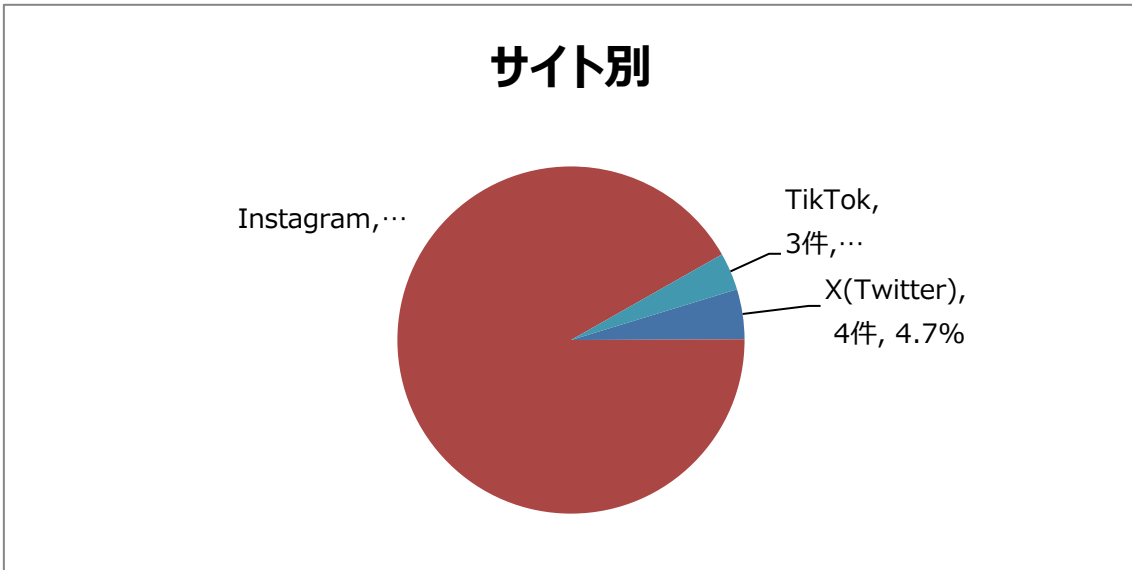


問題行動別検出件数





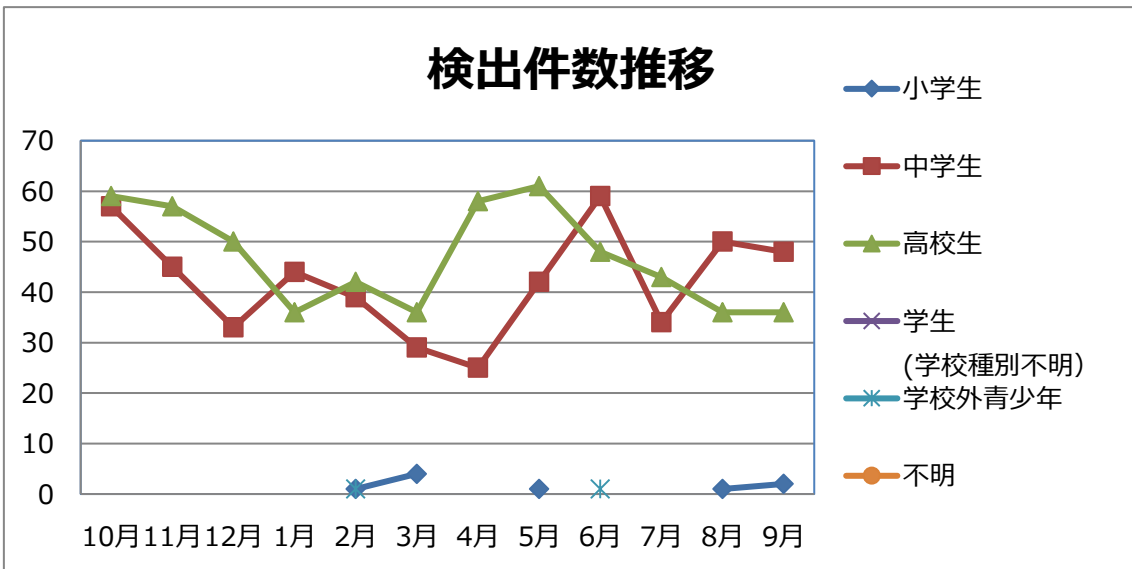
サイト別



※四捨五入のため合計が100%にならないことがあります。



検出数推移



以上